

令和7年度 第5回リフレクション会議について

(令和7年8月28日)

講師

- 一般社団法人 School Transformation Networking 代表理事 山口 裕也 先生

協議内容

- 伊那市立伊那小学校(長野県)派遣教諭の報告から、探究的な学びについての協議。

内容

第5回 ONE STEPpers リフレクション会議をオンラインにて実施いたしました。

今回の会議では、宮川小学校の森千華教諭より、長野県伊那市立伊那小学校への1週間派遣研修の報告が行われました。伊那小学校は「探究的な学び」の先進実践校として全国的に知られており、今回の報告では、森教諭が現地で感じたこと、考えたことについて共有いただきました。

森教諭は、伊那小学校での研修を「自分自身の問いをもつこと」からスタートされたとのことでした。森教諭自身の問いを胸に、現地の教育実践や子どもたちの姿と丁寧に向き合いながら、一週間で過ごされた様子が語られました。

報告後は、参加者同士によるグループ対話も行われ、活発な意見交換の場となりました。「子どものやりたいことに寄り添うとき、自分自身もそのことを探究しているようでとても楽しかった。」や、「なんのためのテストかを考え直す必要がある。教師が成績をつけるためのテストではなく、子どもにとって意味のあるものに変えていかなければならない。」といった印象的な言葉が交わされ、参加者それぞれが「子ども」を主語にして、自身の実践を振り返る契機となったようです。

講師の山口先生からは、「これからの教師の役割とは、子どもとともに探究することである。」とのお話があり、今後の教師の役割について考えるための重要な視点が提示されました。

参加者それぞれが抱える問いを持ち寄り、対話を通して学び合うこのリフレクション会議の場は、引き続き市内の教育実践の質を上げていくための大切な営みとして位置づけていきます。

